

# ずいそう

## 自家用飛行機は、異次元の感動

### 小型飛行機の操縦は、日々の生活雑踏を忘れさせる、最高のリフレッシュ



野村 達夫

「週末は、久しぶりに鳥根県隠岐の島へ行こう、後醍醐天皇が幽閉された歴史あるこの島、海鮮昼食、島内散策、夕方隠岐の島を後に、鳥取湯村温泉で1泊。翌朝鳥取を後にして、瀬戸内海を空から散策、そして南紀白浜で昼食、機体は西の彼方の夕日に包まれ、何事も無かったかのように、夕方オレンジのライトが光る滑走路へ着陸…」

自家用飛行機の世界では普通の出来事。この数行をお読みいただいている間、様々な思いを巡らせた事でしょう。ほんと？ 嘘？…どちらにしても脳裏に一瞬の空白が、この情景実はごく身近に現実のものであり、小型機操縦で味わえる別次元の世界。ではもう一つ別世界へご案内いたしましょう。

#### 1. はじめに

男性読者の皆さんは、子供の頃、パイロットになりたい！ という夢を持たれたことが、一度はおありでしょう。

さてこれから自家用飛行機を自ら操縦する楽しさ、ビジネスにも活用、そして素晴らしい情景とのめぐり合いへと、出掛けてみましょう。

#### 2. 自家用飛行機による異次元へのいざない

秋のある日、自家用飛行機を操縦して岩手県北上市のとある工業団地内の工場へ東京から視察業務で出掛ける。今日の飛行ルートは、東京近郊の飛行場を昼の12時に離陸、宇都宮・猪苗代湖・山形市、目的地の花巻空港を予定する。今日の搭乗者は私社長、秘書、そして2名のお客様接待、計4名のフライトだ。所有機は車で言えば3Lクラスの機体、巡航速度は約320km、セスナと呼ばれる一般的な機体は1.5Lクラスを指す。出発がちょうど昼のため山形空港に降り、ホワイトハウスでそば打ちをしたというAそば店で昼食をする事にしよう。昼食時間をゆっくり3時間とる事にしたい。この飛行コースの、上空から見る地上の紅葉この季節は見事な色合いを見せてくれる価値あるコースの一つ、お客様もその情景の美しさを喜ばれビジネスに効果100倍。エンルートの気象情報によると全コース秋晴れ、揺れる予想も無く飛行への気象影響は無いと判断、花巻空港到着16時30分を予定。エンルート上の気象状況の判断は、自身の操縦技量と密接な関係があり、疎かに出来ない。さていよいよ離陸だ、離陸後ヘディング（進路）を北へ向け、宇都宮を過ぎる前後に、高度は7500ftへ到達、左には男体山と中禅寺湖が、続けて那須の焼岳、さらに15分すると猪苗代湖が視界に入る。今日は磐梯山の右裾をかすめて裏磐梯へ、絵の具を流したような色をした五色沼上空を飛行しよう、そしてスキー場で名高い天元台上空を真近に見て、一路山形市へ、途中右に山形蔵王を

見て山形市上空の手前から山形空港へ向けて降下に入る。山形市、天童を眼下に降下を続け、広い滑走路01（磁石の方位10°）へすべるように着陸、管制塔から指示されたパーキングスポットへ進み、エンジン停止。東京近郊の飛行場離陸から山形までの飛行時間は60分。空港タクシーでそば街道のAそば店へ、この店のメニューは、そば・ニシンの味噌煮・お新香、たった3品、それでもわざわざ寄るだけの価値がある味だ。ゆっくり味を堪能し16時山形空港を離陸、一路花巻空港へ進路をとり飛行。山形空港から花巻空港まで僅か30分の飛行。途中こけしの鳴子、栗駒山上空を通過して北上市へ向けヘディングを向ける、あと18km、この辺りから花巻空港の管制塔へコンタクト、使用滑走路番号のアドバイスを貰う。秋の夕暮れに映える滑走路灯が光る滑走路へタッチダウン、自らの操縦だから体験できるこの情景、達成感、満足感、感激、飽きる事のない爽快感を味あわせてくれる、これが自家用飛行機操縦の醍醐味である。

ここまでお読み頂いた皆様には、新たな別次元を感じられたことだろう。そうでない方は、是非体験される事をお勧めしたい。



満月の光の中、釧路空港へ向け降下中 飛行ルート図 \*地図は Jeppview

—のむら たつお テクノクラート(有) 代表—